

# 犬猫を飼育している高齢者に対する 動物飼育に関する意識調査

東京農工大学 人と動物の共生社会推進プラットフォーム  
2023年3月

この調査は、東京都の大学研究者による事業提案制度採択事業「大学と自治体、企業、NPOの協働による高齢者の福祉向上を目指した動物との共生社会の実現と拠点形成」により東京農工大学が行いました。



# 1.調査について

東京農工大学の人と動物の共生社会推進プラットフォームは、犬や猫と暮らす60歳以上の方により良い情報を提供するために、現在のペットの飼育状況、動物との暮らしの中で特に困っていることなどに関してアンケート調査を行った。

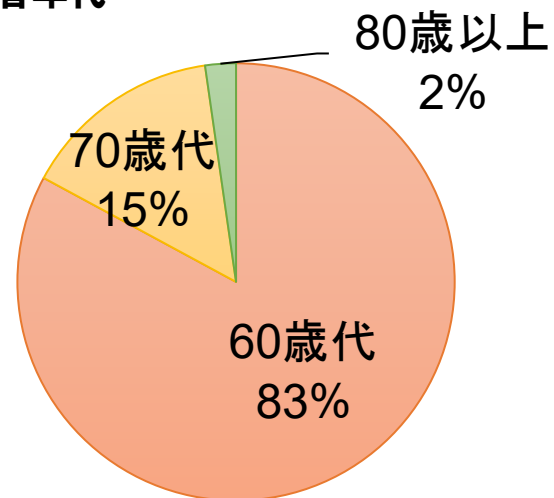
回答者数: 485名(うち、男性135名、女性349名、回答なし1名)

調査期間: 2020年10月末から2021年7月末まで

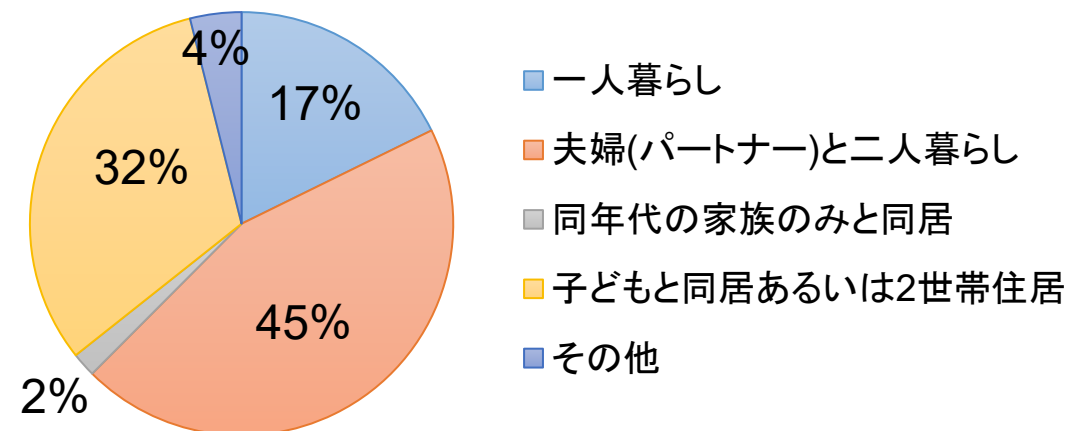
調査方法: 東京都獣医師会に所属するA会員病院636件に対してアンケートのポスター提示を依頼、来院者がQRコードを読み取ることによりWeb上から回答

## 回答者属性

回答者年代



家族構成



## 2.回答結果①

どんなペットを飼っていますか? あてはまるものを全て選んでください。

単位 名

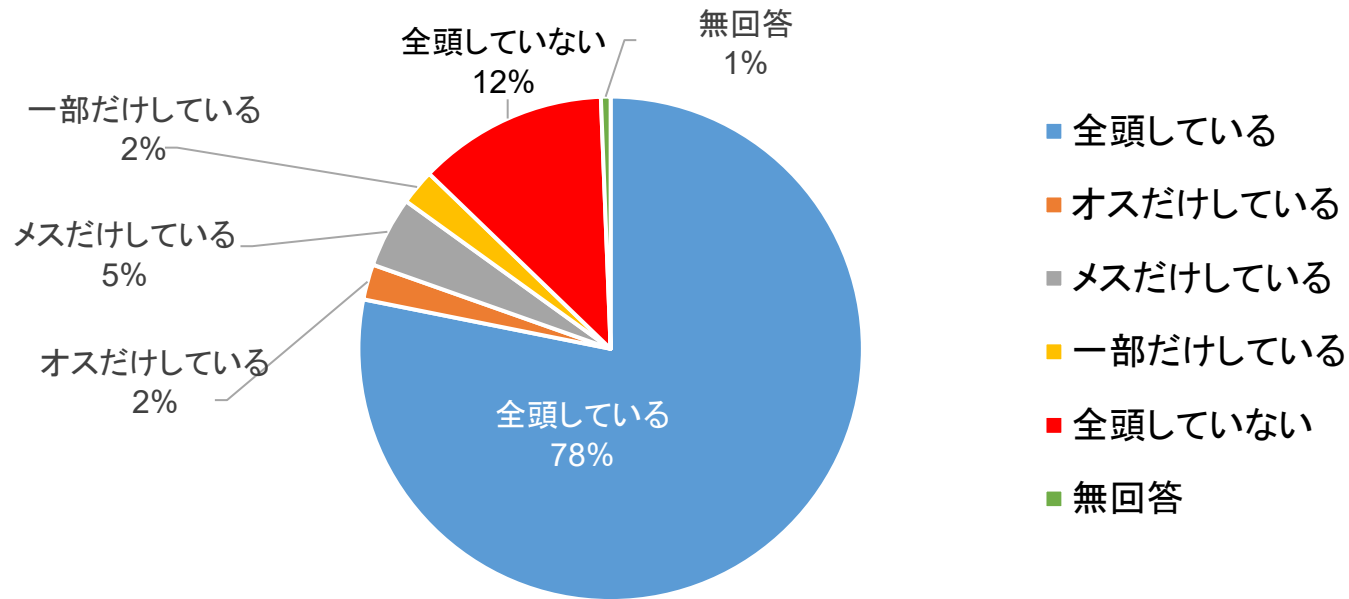
	猫0頭	猫1頭	猫2-3頭	猫4-5頭	猫6頭以上	その他1頭	その他2-3頭
犬0頭	0	55	49	14	10	0	0
犬1頭	230	15	6	2	1	4	0
犬2-3頭	65	5	6	1	2	0	1
犬4-5頭	7	0	0	0	0	0	0
犬6頭以上	6	0	0	0	2	0	0
その他1頭	0	0	0	0	0	0	0
その他2-3頭	0	0	0	0	1	0	0

485名中285名は犬か猫を1頭しか飼育していないが、200名は複数頭飼育している。

## 2.回答結果②

ペットの避妊・去勢はしていますか？

### 不妊手術

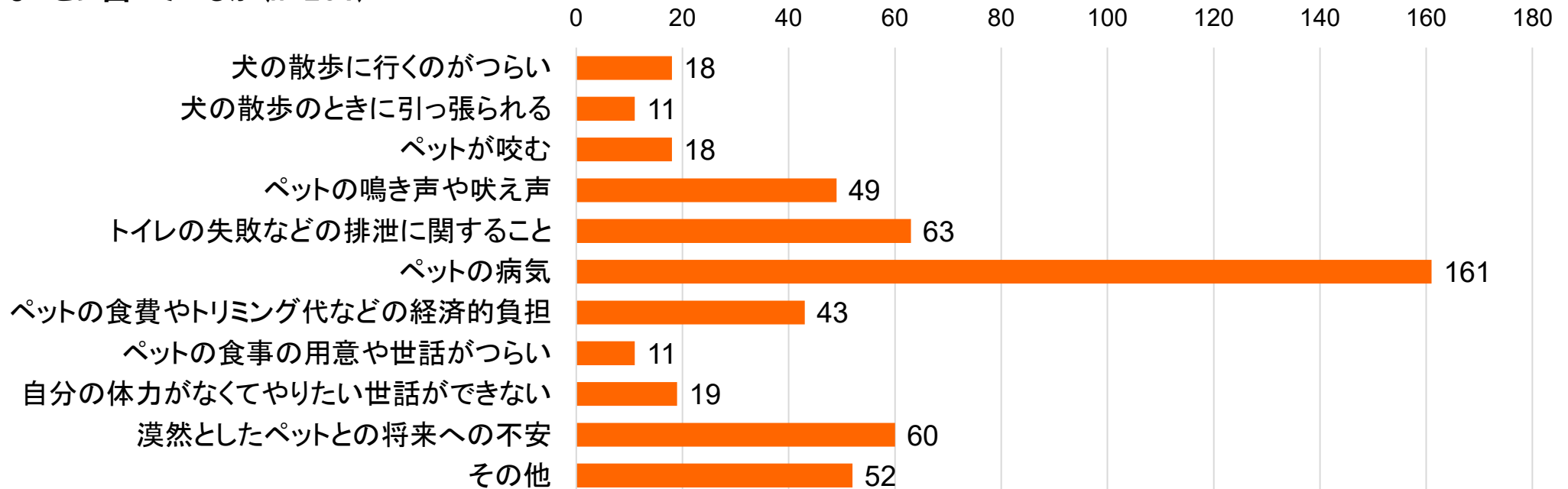


飼育動物の不妊手術に関して78%（379名）は全頭手術をしていると回答しているが、不妊手術を全頭にさせていない59名のうち、動物を複数頭飼育していて、全頭手術をしていない家庭は10件であった。

## 2.回答結果③

ペットを飼っていて困っていることはありますか？  
困っていることのある方にうかがいます。どんなことに困っていますか？ あてはまるものを全て選んでください。

どんなことに困っているか (n=281)

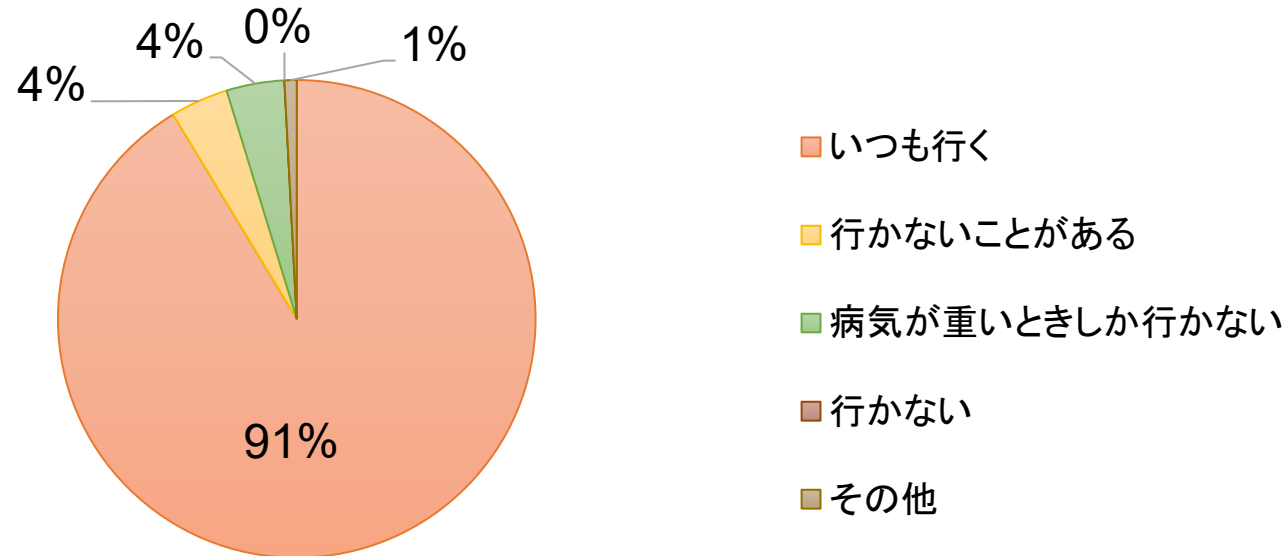


困っていることがある281名のうち半数以上の161名がペットの病気をあげている。そのほか病院へのアクセス、治療費、本人が病気になったらどうするか、が主な理由となっている。

## 2.回答結果④

ペットの具合が悪い時、動物病院に連れて行っていきますか？

ペットを病院に連れていくか (n=485)

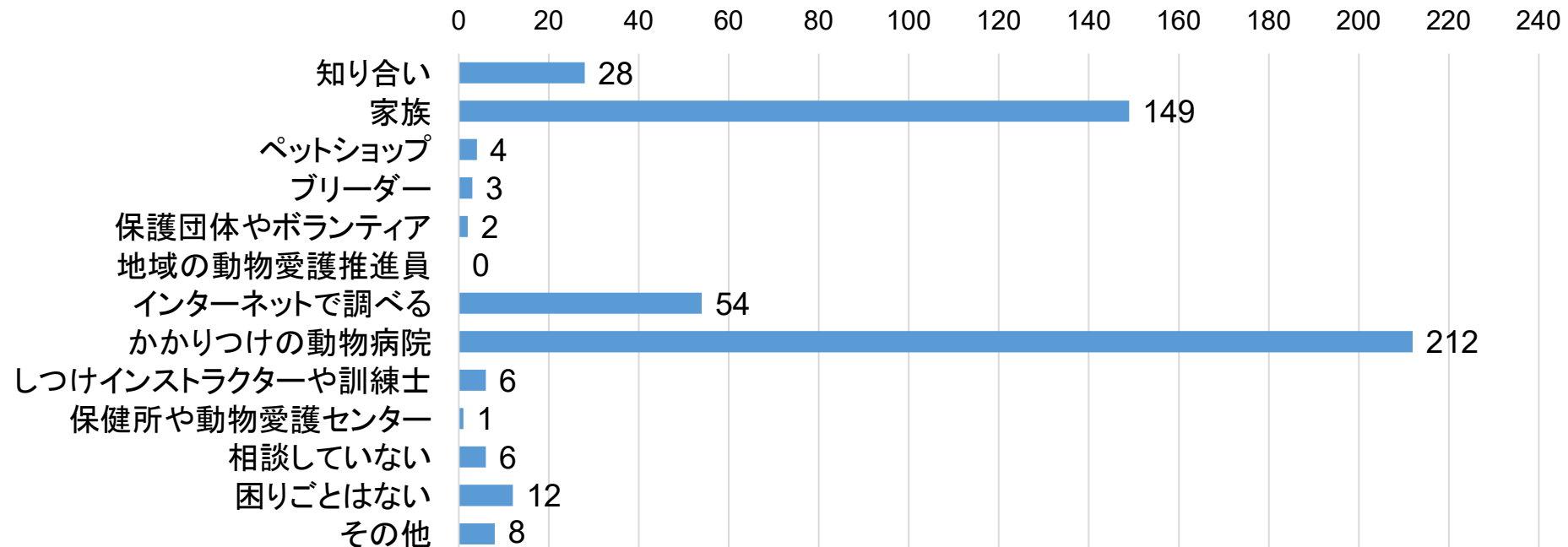


ペットの具合が悪くなった時に動物病院に連れていくか否かを尋ねたところ、91% (443名) がいつも行くと答えており、行かないと答えた人は0であった。行かないことがあると答えた方の理由として、通院する手段がない(5名)、動物病院に行く体力がない(4名)、治療費が高い (17名)、時間がない (8名)、いい病院がない (2名)、その他猫が行きたがらない、軽い症状の時は様子を見ている、などの回答が挙げられた。

## 2.回答結果⑤

ペットを飼っていて困りごとがあった時、最初に誰に相談していますか？

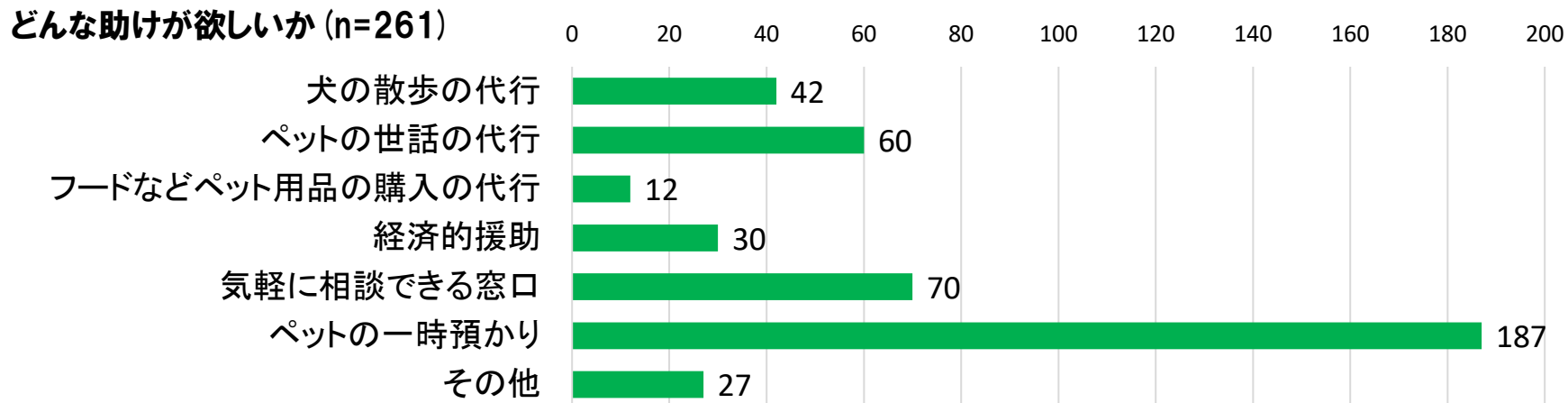
ペットの困りごとを最初にだれに相談するか (n=485)



まずはかかりつけの動物病院に相談したい方が485名中212名であった。次に相談相手となるのが家族であった。実際に困ったことに関して相談されている方に伺うと、かかりつけ動物病院とご家族が回答数として多く、回答全体の58%であった。ほかに比較的多い回答がインターネットで調べる(18%)と知り合いに尋ねる(15%)であった。ほかにもペットショップ、ペットシッター、トリマー、しつけ関係者などであった。

## 2.回答結果⑥

ペットを飼うことについて、助けが欲しいと思ったことはありますか？  
ペットを飼うことについてどんな助けがほしいですか？ あてはまるものを全て選んでください。(複数回答)



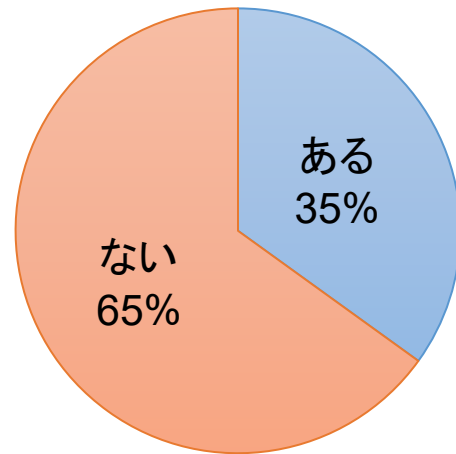
助けを必要としたことがあるか聞いたところ、485名中261名(54%)が「ある」と答えた。助けを欲している261名に聞いたところ、一番多くの方が回答したのが、「ペットの一時預かり」で86.5%を占めた(187名/216名)。具体的な意見として、信頼できるペットホテルや一時預かりしてくれるところが必要とされており、ほかにも動物病院に通院するための交通に関してのお困りが多く記載されていた。高齢者は急な病気や入院などでペットたちをどうすることもできなくなる問題を抱える可能性が高いため、一時預かりや動物病院などの送迎に関して、業界で考えていかないといけないかもしれない。



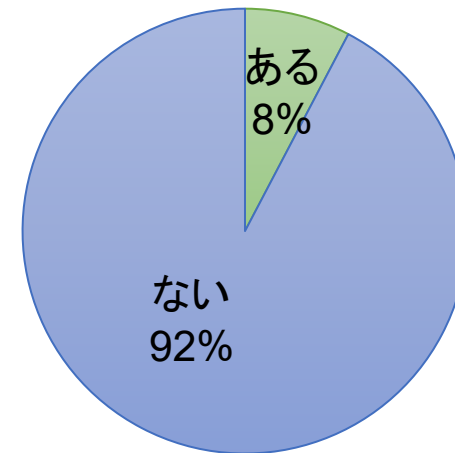
## 2.回答結果⑦

猫を飼っている方にうかがいます。猫に咬まれて、傷が腫れたことはありますか？  
犬を飼っている方にうかがいます。自分の飼い犬に咬まれて、病院に受診するほどの傷を負ったことはありますか？

猫に咬まれて傷が腫れたこと



犬に咬まれて病院に受診したこと

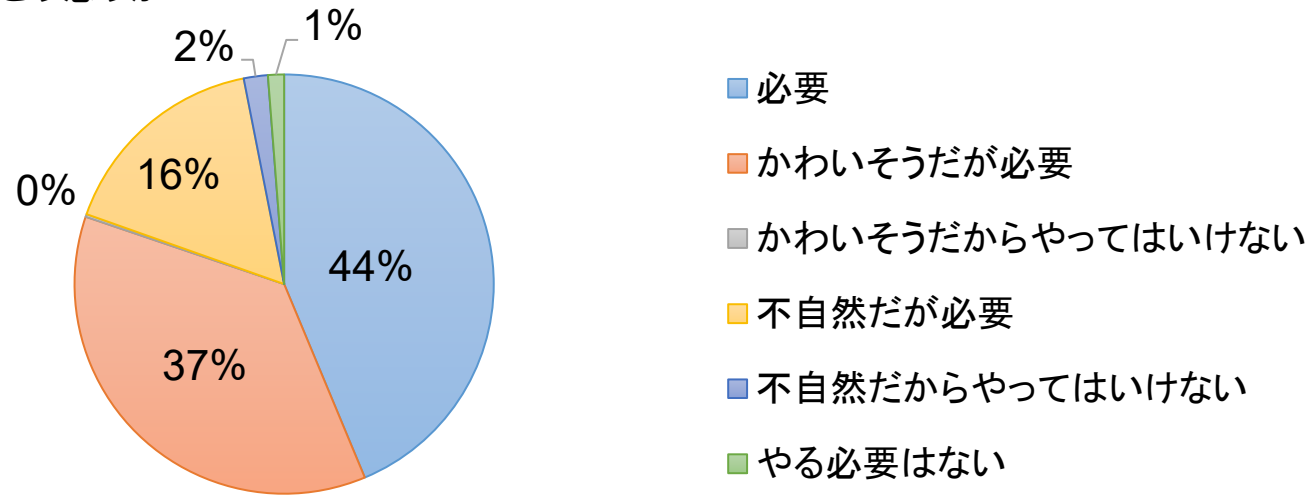


高齢者で動物を飼育している方のうち、犬を飼育している方351名中、飼い主が病院に行かないといけなほどかまれたことのある人は27名、猫を飼育している人186名中、傷が腫れるほどかまれたことのある人は65名であった。

## 2.回答結果⑧

犬と猫の避妊去勢手術についてどう思いますか？ 一番あてはまるものを一つ選んでください。

不妊手術についてどう思うか



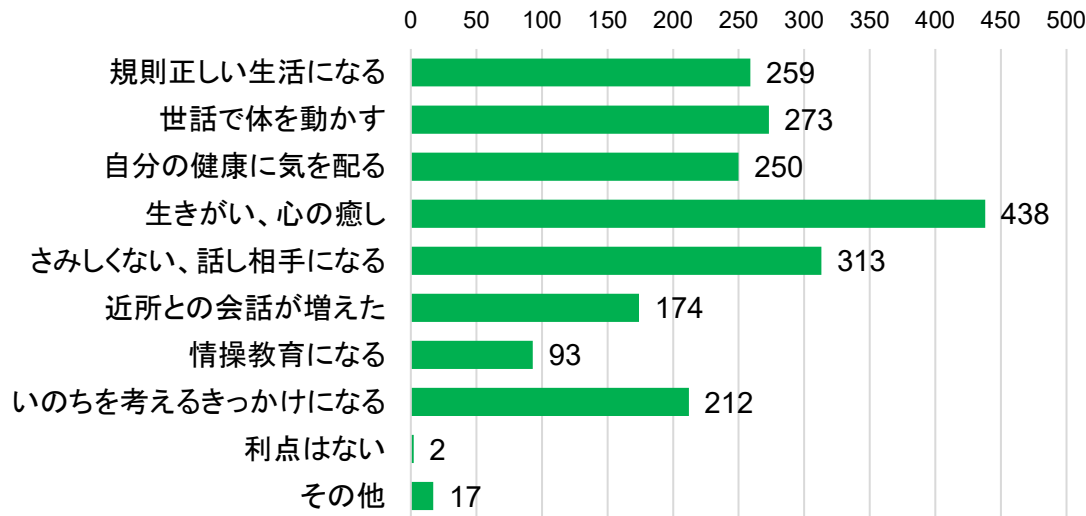
犬猫の避妊手術、去勢手術について問いでは、485名中212名(44%)は必要、177名(37%)はかわいそうだが必要、不自然だが必要が80名(16%)と答えている。それに対し、かわいそうだからやってはいけないが1名(0.3%)、不自然だからやってはいけないが9名(2%)、やる必要はないが6名(1%)と少数派だった。

## 2.回答結果⑨

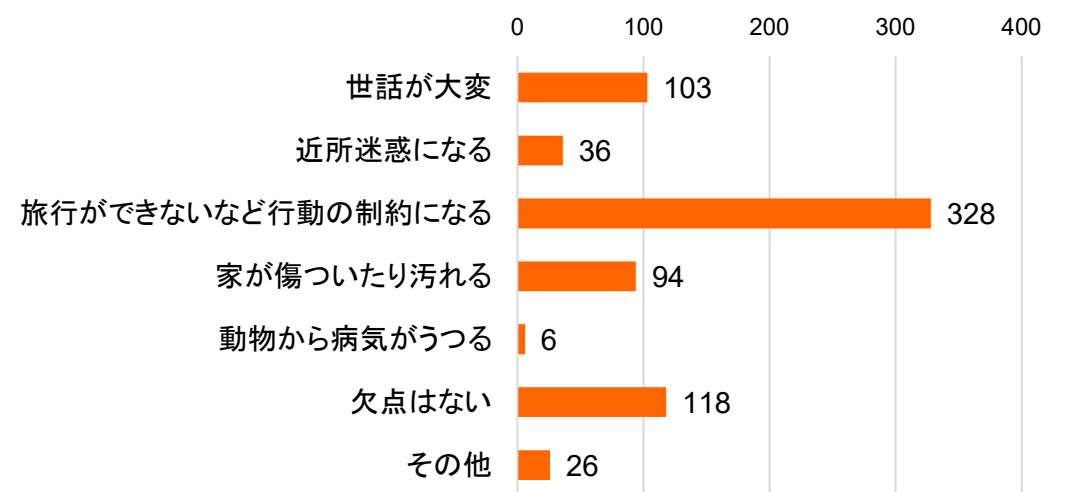
ペットを飼うことの利点についてどう思いますか?(複数回答)

ペットを飼うことの欠点についてどう思いますか?(複数回答)

ペットを飼うことの利点 (n=485)



ペットを飼うことの欠点 (n=485)



ペットを飼うことに関する利点・欠点を聞いたところ、上記の結果となった。その他の意見として自由記載いただいたが、「生きがい」「家族との会話が増える」「ペットを介して仲間ができた(犬友達)」「病気の私を精神的に支えてくれた」「宝物」「家族が増えるのが楽しい」「愛情あふれる生活」といろいろな利点をあげている。対して、ペットがいることの欠点はその他の意見として、「経済的負担」は多く、ほかに「ペットロスが怖い」「お別れが辛い」「将来が不安」「ペットの介護の問題」などがあげられていた。

### 3.まとめ

高齢者がペットを飼育することで生活に張りが出たり、社会的参加がしやすくなったり、社会参加への潤滑油になったり、健康増進に効果的で病気になる率が少なくなるという報告があり、高齢者のペットの飼育は推奨される一方で、高齢者がペット飼育に対しての不安もあり、それに対するサポートがまだ足りない現状がある事が示唆された結果となった。